

1. 件名：玄海原子力発電所3号炉及び4号炉における最新知見の反映に係る
対応状況について

2. 日時：令和5年12月12日（火） 12時15分～12時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官※、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他8名※

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

（1）原子力規制庁から、玄海原子力発電所3号炉及び4号炉における「日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）－九州地域・中国地域北方沖－」（令和4年3月25日地震調査研究推進本部地震調査委員会）の知見の反映について、第1197回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（令和5年10月13日）の場を活用して指摘した事項に対する九州電力の対応状況を確認した。

（2）九州電力から、提出資料に基づき、第1五島堆断層帯の中部区間の評価に係るデータ整理等に時間を要しており、資料提出は令和6年1月中を予定しているとの説明があった。

6. 提出資料

・玄海原子力発電所における「日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）」への対応について